

# 首都圏最大電車区拠点の自負にかけて 国電運用合理化断固粉碎を宣言!

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

## 津田沼支部定期大会開かる

津田沼支部才二回定期大会は、2月9日13時より津田沼電車区講習室において代議員・傍聴者約50名の参加をもって開催された。昨年4月17日、勤労「本部」革マル反動暴力分子の襲撃に対し、片岡支部長頭がい骨骨折をはじめ多くの執行部が重軽傷を負いながらも断乎たる反撃をもって闘う勤労千葉の組織と名誉を守り、身をもつて正義を守りぬいてきた。この何ものも恐れぬ果敢な闘いが逆に全組合員の強固な団結をかちとり、翌日4月18日の支部結成大会の圧倒的成功をもって、全支部結成の先陣をかりひらいてきたのである。大会はこの10ヶ月の勝利に踏まえ、怒りも新たに「不当処分・局報号外」を粉碎し、「本部」革マル反動集団の裏切りをつき出し「国電運用合理化」「35万人体制」粉碎を絶力であちくたくことをはつきりと宣言したのである。

**勤労千葉と共に闘う、国労分会・DS労組・習志野市車・地区共闘などから 激励と連帯のあいさつ**

大会は深見執行委員の開会あいさつで始まり、議長に足立代議員(乗務員分科)を選出、議事に入った。冒頭片岡支部長から「昨年の4月18日結成大会以降『本部』革マル反動分子による組織破壊攻撃に対し、全組合員の方で闘い勝利してきた。今大会を期して三里塚・ジェット闘争貫徹・国鉄35万人体制粉碎の闘う方針と体制をうち固めうって出よう」との挨拶をうけ、続いて国労分会・習志野市車・田地サービズ労組・三里塚を闘う市川船橋習志野地区共闘代表から、80春闘、反合、三里塚での地域共闘を強め、勤労千葉と連帯して闘うとの決意と連帯が表明された。本部からは中野書記長、吉岡・高橋両執行委員が参加した。

**反処分・運用合理化・検修合理化・80春闘等で活発な討論!**

つづいて、山下副支部長、重見書記長はじめ執行部より経過報告・決算・会計監査報告・運動方針案・予算案が提起され活発な質疑討論ののち満場一致の拍手で確認された。  
討論は次の点で集中的になされた。

① 35万人体制・反合について……「東京などでは検修上廻り民託の完了の上に、今度は台検交検民託化が提案されている。検修大合理化阻止の具体方針について」「勤労東京が率先協力している国電運用効率アップを絶対粉碎しよう」「整備民託攻撃」「検修要員欠問題」など。

② 潜入革マル分子退田について……「今日完全に当局の先女になって既得権を崩しに奔走する(生)分子の本性をさらけ出してこい」など。

③ 80春闘について……「8%要求は全く労働者の立場を放棄するもの」「右翼的労働戦線一阻止にむけて」など。

④ 処分粉碎闘争と今後の展望について。

⑤ 東希・検修の分断を許さず組織強化を。ほどであった。また次の二点が確認された。

**佐倉支部結成におけたオルグの進展に強い関心と全力投入の決意みなぎる。**

中野書記長より「最後の結着として佐倉銚子結成を闘い抜いている。一人一人総あたりで腹を割って話す中で多くの手ごたえがあり近いうち勝利する。年度内結成で80春闘を共に闘う方向で全力で進行中」との詳しい報告をうけ、全員で更なる決意を確認。

**2.7狭山再審却下攻撃弾劾・石川氏奪還への特別決議を大会の名において満場一致採択**

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!